港区人権啓発だより

ヒューマンハート

VOl．13
2021．8

【発行：港区役所／港区人権啓発推進協議会】

ストップ！コロナ差別　～新型コロナウイルス感染症に関連した人権について～

大阪では、新型コロナウイルス感染拡大により４度の緊急事態宣言に入りました。日常生活の様々な制限の中、たくさんの方がそれぞれ異なった状況でストレスを抱えていると思います。

新型コロナウイルス感染症に関する、誤解や偏見、忌避意識などにより、感染された方や医療従事者、海外からの帰国者、またそれらの家族に対する、不当な差別、いじめ等があってはなりません。また、ワクチンを接種しない選択をした方へのワクチンハラスメントも問題です。

ＳＮＳ等を利用した投稿や書き込みは、誰もが情報を簡単に発信できるため、誤った情報や根拠のない噂などの不確かな情報もあふれています。あなた自身が誹謗中傷や風評被害の加害者にならないように、冷静な行動をお願いします。

またステイホームが増えたことにより、ふとしたことをきっかけに不安や怒りの衝動を抑えらず、他の誰かにぶつけてしまう危険が高まり、ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）や児童虐待の増加が心配されています。不安や悩みを一人で抱え込まず、気軽に相談窓口に相談ください。

大阪市では、シトラスリボンプロジェクト※に賛同しています。港区役所５階５３番窓口では、地域の有志の方のご協力により、シトラスリボンを配布しております。シトラスリボンの輪を広げましょう。

人権に関する相談について

不当な差別、いじめ等の人権問題に関してご相談ください。大阪市人権啓発・相談センター電話：06-6532-7830

シトラスリボンプロジェクト※とは

コロナ禍で生まれた差別や偏見に関して、愛媛の有志の方がつくった「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めるプロジェクトです。

Citrus Ribbon

ＤＶに関する相談

市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課
電話：06-6208-9156

児童虐待にかかる電話相談

こども青少年局こども相談センター
電話：06-4301-3100

ごあいさつ

港区人権啓発推進協議会
会　長　　板谷　廣二

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言のため、例年実施しております区民まつりの人権啓発コーナーの設置、12月の人権週間の街頭啓発などを中止いたしました。ﾚｲﾝﾎﾞｰｶﾌｪ 3710 につきましては、当初は開催を見合わせておりましたが、緊急事態宣言解除後の８月より開催し、２ 度目の緊急事態宣言後は teams を活用したオンライン会議に切り替えるなど工夫をして開催させていただきました。

毎年、港・西・大正・浪速区の４区合同で開催している「人権展」「人・愛・ふれあいプラザ」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、来場するスタイルから変更し、人権展のタブロイド紙「読む人権展 ＳＴＡＹ ＨＯＭＥ ＪＴ」を作成しました。そのほか人権テーマの映画上映を行う「見る人権展」、様々なゲストと人権をテーマとしたラジオトークを行う「聞く人権展」の３つを柱とした人権展を開催しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら啓発活動を実施したいと考えております。

多様な人々が活躍できる、ふれあいと温もりにあふれた人にやさしいまちづくりに向け、今後とも地域に根ざした人権啓発活動に取り組んでまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後に一日も早く新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、皆さまの日常生活を取り戻すことができることを願っております。

港区におけるＬＧＢＴ問題についての取組み

港区では、平成 28 年 7 月に策定した『大阪市港区まちづくりビジョン』に「世代や性別、国籍、文化、障がいの有無などの違いを認め合い、個性と能力が発揮できる社会をめざす」ことを掲げ、多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進に取り組んでいます。港区のＬＧＢＴ問題についての取組みを紹介します。

レインボーカフェ3710（みなと）

平成 27 年 10 月から、LGBT 当事者とその友人やアライ（協働パートナー）が、毎月第 4 火曜日の午後 7 時から港区民センターで集まり、多様性を生かし力にできるまちづくりを目指し、交流会の開催や区民まつりへの啓発ブースの出展など様々な取り組みを行なっています。

※ろう者が参加しているので、コミュニティ通訳者（有償ボランティアの手話通訳者）を配置しています。
※参加希望の方は港区役所協働まちづくり推進課（電話 6576-9975、ＦＡＸ6572-9512）までお問い合わせください。

レインボー3710 の紹介動画を港区役所 YouTube チャンネルで公開しています！

レインボー3710 とは、港区役所主催の「レインボーカフェ 3710（みなと）」の場で話し合われた内容や啓発を具体化しようとしている団体のことです。今回は、このレインボー3710 が港区役所 YouTube チャンネルに動画を公開されておりますので、ご紹介します。

新型コロナウイルス感染症が感染拡大している社会状況は、わたしたち（レインボー3710：みなと）の活動にも大きな影響を与えました。

緊急事態宣言によるミーティングの中止、例年、参加している港区民まつり等数多くのイベントの中止、不定期で企画していた交流会や講演会の開催見通しが立たない等、数多くの取り組みができませんでした。

コロナ禍でもわたしたちができる活動は何かないのかと考えていた時に、オンライン港区民まつりへ動画を活用した参加の提案がありました。レインボー3710 では、今まで動画作成をしたことはありませんでしたが、メンバーで話し合った結果、コロナ禍だからこそ初めての取り組みにチャレンジすることになりました。

また、新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃から、各自治体の記者会見にも手話通訳が増えてきました。この動画にも、情報保障として、日本語字幕と手話通訳をつけています。わたしたちの動画を通じて、情報を伝える時には、音声の言葉だけでなく、日本語字幕や手話通訳を取り入れることは当たり前のことだと認識してもらえるようになれば嬉しく思います。完成したこの動画は、こちらの QR コードからぜひご覧ください。

レインボー3710 は、港区が、様々な人たちが自分らしく過ごせるまち、多様性があふれるまちになるよう活動していますので、引き続きよろしくお願いします。

メールアドレス：　rainbowminato@gmail.com

第一回大阪市性の多様性尊重大賞に入賞されました!

レインボー3710 が港区での精力的な活動が評価され、「第一回大阪市性の多様性尊重大賞」に入賞されました。写真は、2020 年 11 月の表彰式の様子です。

今後も、ご活躍を期待しております！

特集

持続可能な開発目標SDGs（エスディージーズ）ってなんだろう？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015（平成 27）年９月、国連総会で、SDGs（エスディージーズ、持続可能な開発目標、Sustainablu Development Goals）が採択されました。

これは、世界の貧困を終わらせ、全ての人が平等の機会を与えられ、地球環境を壊さず、より良い生活を送ることができる世界、すなわち持続可能な世界を実現するための 17 個の目標で構成されています。

2016（平成 28）年から 2030（令和 12）年までの 15 年間、日本も含めた先進国でも取り組んでいくことになっており、国や自治体、会社レベルだけでなく、個人レベルでも取り組めることがたくさんあります。

1 貧困をなくそう — あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

2 飢餓をゼロに — 飢餓を終わらせ、全ての人が栄養のある十分な食料を確保できるようにし、持続可能な農業をすすめる

3 すべての人に健康と福祉を — あらゆる年齢の全ての人の健康な生活を確保し福祉を推進する

4 質の高い教育をみんなに — 全ての人へ公平で質の高い教育の普及と生涯学習の機会を提供する

5 ジェンダー平等を実現しよう — ジェンダーの平等を実現し、全ての女性と少女が力をつける

6 安全な水とトイレを世界中に — 全ての人が安全な水とトイレを利用できるよう衛生環境を改善し、管理する

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに — 全ての人が、安くて安定した、持続可能なエネルギーを利用できるようにする

8 働きがいも経済成長も — 誰も取り残さない持続可能な経済成長をすすめ、全ての人が生産的で働きがいのある人間らしい仕事につくことができるようにする

9 産業と技術革新の基盤をつくろう — 災害に強いインフラを作り、持続可能な形で産業を発展させ、イノベーションを推進する

10 人や国の不平等をなくそう — 国内及び国家間の格差と不平等を見直す

11 住み続けられるまちづくりを — 安全で災害に強く、持続可能な都市及び住環境を実現する

12 つくる責任つかう責任 — 持続可能な方法で生産し、消費する取り組みをすすめる

13 気候変動に具体的な対策を — 気候変動とその影響を軽減するための緊急対策を講じる

14 海の豊かさを守ろう — 海と海洋資源を保全し、持続可能な利用をすすめる

15 陸の豊かさも守ろう — 陸の生態系や森林保護・回復と持続可能な利用を促進し、砂漠化と土地の劣化に対処し、生物多様性の喪失を止める

16 平和と公正をすべての人に — 平和的で、誰一人取り残されない社会を促進し、全ての人が法や制度で守られる社会を構築する

17 パートナーシップで目標を達成しよう — 目標達成のために必要な行動を強化し、持続可能な開発に向けて世界中の人々が協力する

公益財団法人日本ユニセフ協会作成副教材
『私たちがつくる持続可能な世界』より
一部抜粋

2020 第 36 回 たいしょう人権展　11/1（日）～12/11(金)

主催／西・大正・浪速・港区役所

人権展は、1983 年の「大浪橋差別落書き事件」を契機に、人権問題の早期解決を願い、1985 年から毎年開催しています。

2020 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、開催方法を従来の来場スタイルから変更して、タブロイド紙「読む人権展 ＳＴＡＹ ＨＯＭＥ ＪＴ」の配布、「見る人権展」、「聞く人権展」の３つの人権展を実施しました。

電話リレーサービス、はじまりました！

～「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律（電話リレー法）」施行～

令和２年６月に同法律が制定（同年 12 月施行）され、令和３年７月１日より公共インフラとしての電話リレーサービスの運用が始まりました。「電話リレーサービス」とは、聴覚や発話に困難がある方と聞こえる方との会話を通訳オペレーターが「手話」または「文字」と「音声」を通訳することにより、24 時間 365 日、電話で双方向につなぐサービスです。これにより、今まで課題であった警察や消防への緊急通報も可能となりました。

大阪市人権啓発推進員の活動

大阪市人権啓発推進員は、人権問題への深い関心と啓発活動に意欲をもつ方々で、大阪市長より委嘱され、地域において人権啓発活動に取組んでいます。毎年 12 月の人権週間期間に JR 弁天町駅周辺での開催している街頭啓発に参加しています。

差別落書きをしない・させない・許さない

差別落書きは、人の心を深く傷つける悪質な行為で、決して許されるものではありません。差別落書きを発見したときは見過ごさず、ただちに下記連絡先にご連絡ください。

人権にかかわる相談窓口

専門相談員による人権相談

～ひとりで悩んでいませんか？～

〔相談専用電話番号〕

０６－６５３２－７８３０（なやみゼロ）

（FAX　０６－６５３１－０６６６）

〔平日〕9:00～21:00〔日祝〕9:00～17:30

※土曜日及び 12/29～1/3 をのぞく

大阪市人権啓発相談センター

お問い合わせ先

06-6532-7631（平日 9:30～17:30）

大阪市人権啓発
ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ
にっこりーな

お問合せ・連絡先　港区役所協働まちづくり推進課　☎06-6576-9975　FAX06-6572-9512